

マーケットの動き（2025年11月10日～11月14日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。高市新政権に対する財政拡張への懸念や、11日に実施された30年債入札が市場予想を下回ったことなどが嫌気され、超長期債を中心に売られました。また、米国長期金利の上昇なども受け、新発10年物国債利回りは、一時17年半ぶりの水準まで上昇しました。

クレジット市場は、旺盛な投資家需要を背景に、堅調に推移しました。

投資環境見通し（2025年11月）

国内長期金利に対する上昇圧力は続く

日銀は政策金利の据え置きに際して、追加利上げに対する前向きな姿勢を維持しながら、2026年の春闘の初動の状況や、食料品回りのインフレ率などを確認する意向を示しました。日米経済情勢が比較的底堅く、日銀の利上げに向けた方向性は尊重されているとみられる中、利上げは1月までには実施されるとみています。このことに加えて補正予算審議など財政政策も拡張的な議論が進むとみられることから、国内長期金利に対する上昇圧力は続くとみています。

	11月14日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	1.70	0.02	0.04	0.25	0.64
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	342.42	▲0.31%	▲0.10%	▲1.51%	▲4.21%

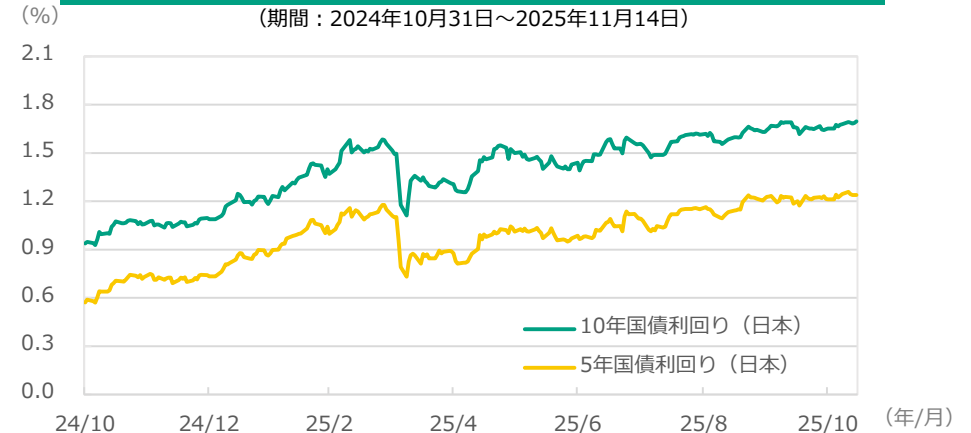
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202511_outlook.pdf

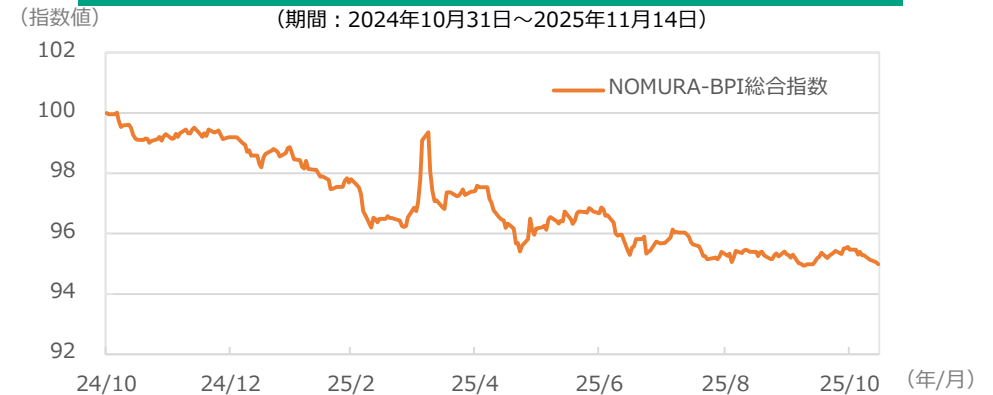
日本国債利回りの推移

（期間：2024年10月31日～2025年11月14日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2024年10月31日～2025年11月14日）



※2024年10月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>